

共愛学園前橋国際大学 デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

取組名称：KYOAI Career Gate×AIによる個別最適学修の実現～地方小規模大学DXモデルの構築～

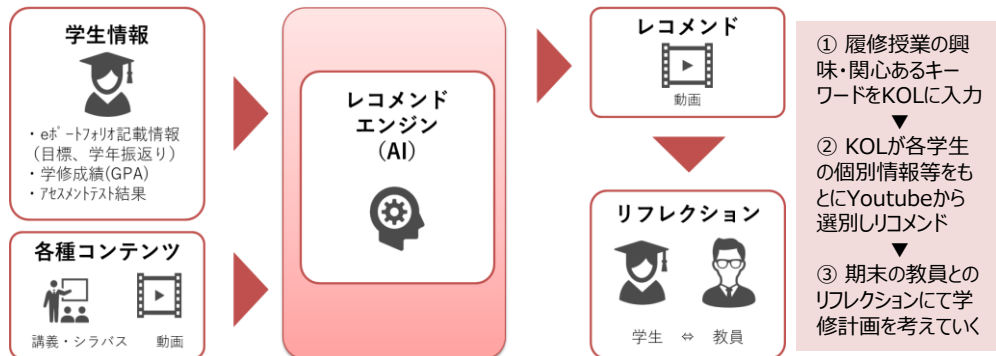
キーワード：#KYOAI Career Gate #ヒト中心のAI #地方小規模大学

取組概要：本学は、BYODによる教務システム連動デジタル出席確認システムやLMS、eポートフォリオの導入、完全ペーパーレス会議やグループウェアの活用等のデジタル化を推進してきた。これらの取組を基盤とし、地域におけるリアルな学び、教室における顔の見える教育といった強みを補強し、リソース不足等の弱みを克服するための外部デジタルコンテンツ活用等のさらなるDXを推進する。特に、蓄積された教育データを有効活用するためにAIを導入し、個別最適学修プログラムの設計を可能とする学修支援スキームを構築することで、学修者本位の学びを実現するとともに、LMS活用率100%を達成し、これまで以上に個別双方向の質の高い教育を展開する。同時に、会議の完全ペーパーレス化等の実績を大学業務全体に波及させ、キャンパスモバイルフォンの導入やFull Remote Access Campusの可能性を模索し、大学運営のDXを推進する。

<取組をととして得られた実績・成果>

教育領域のDX

■ AIリコメンドシステムリリース (KYOAI Optimized Learning : KOL)



履修している授業の予復習時の補助教材として、Youtubeより動画をリコメンドするシステム（KOL）をR3年度末にリリースした。リコメンドされる動画は、学生が自身の学びを記録するeポートフォリオ情報、GPA、外部アセスメントテスト結果、他学生の動画への感想等をAIにて解析されたものになる。

■ LMS (Moodle) をリニューアル

教員の利便性および学生の学修効果を高めるため、LMS (Moodle) を再構築した。今回、SaaS型に変更した。学内の保守管理が不要となり、LMSを利用した授業の質の向上が見込める。

大学運営領域のDX

学生の学修環境の改善 (withコロナ対策を含む)、および教職員の業務効率化に向けた各種取組を行った。

ハイブリッド授業対応教室改修ボタン一つで簡単に授業配信をすることができるシステムを大講義室に導入。自宅待機学生にもリアルタイム配信可。

▶システム画面



- 退学管理デジタル化
- 業務効率化RPA導入
- Wi-Fi環境の強化
- ハ°-ル°レスワークデスクの設置
- キャンパスモバイルフォンの導入

<今後の予定・展望>

■ KOL×KCGの具体的運用

R4年度はKOL開発に関わった教員を中心に、担当授業において本AIリコメンドシステムを活用し、その知見を他教員と共有することにより、個別最適学修システムの定着と自律的学修の質の向上を図っていく。

第1フェーズ

授業毎に学修補助教材を個別にリコメンド
※本事業での取組

第2フェーズ

個別最適学修立案に向けたリコメンド&リフレクション

本事業でのKOLを第1フェーズとして、数年後を目途に外部動画コンテンツだけでなく、正課科目、正課外活動等を学生個々にリコメンドすること、並びにそのリコメンドを教員・カリキュラムアドバイザーとの面談を通して客観的に活用することを通して、個別最適学修計画立案を可能とする仕組みを構築する。

■ 本学におけるDX最終目標

- ① 教育の高度化
- ② 業務効率化&個別双方向教育環境構築
- ③ 地方における高度専門分野人材（教員）の補完

■ 学内デジタル化環境の更なる推進

効果的なハイブリッド型教室利用の横展開

対面とオンラインが共存する中でのアクティブラーニング事例を横展開するとともに、LMSを効果的に利用し、授業の質を高めていく

学内事務業務完全ペーパーレス化に向けた検討

手作業等の業務を可能な限り自動化を行い、クリエイティブ業務に時間を割けるようにしていく。同時に学内理解を深めるための研修も随時実施する